

橿原考古学研究所紀要



—— 第 4 4 冊 ——  
2021

## 序

橿原考古学研究所の調査・研究の目的は、考古学を通して奈良県の様々な時代に住んだ人々の営為を解明し、歴史的な流れの中、あるいは相関関係のある文化的な空間の中に位置づけることです。

そのために、我々は、それぞれの発掘調査の成果が時代の全体像の中でどういった位置を占めるのかを意識するとともに、調査成果から時代の全体像をどのように再現できるのかを常に念頭に置き、調査・研究を通して歴史の全体像をより具体的かつ明確にしようとしています。このような意識のもと、専門とする時代が異なる研究者同士が研究成果を語りあい、検討しあいながら歴史像を構築するという努力ができればと考えています。そこで得られた知見こそが新たな歴史的な解釈を可能とし、その積み上げがより充実した歴史像の構築へとつながっていくでしょう。

その積み上げたものの一つが、『考古学論攷』であり、本冊が第44冊となります。今回は論文6本を収録しました。

今回収録した論文は、いずれも過去に橿原考古学研究所によって調査・報告された出土品等を、現在の視点から再検討し、新たな知見を得たものです。こうした継続的な調査・研究はより充実した歴史像の構築のために大きな意義をもつと考えます。昨今、新型コロナウイルス感染症の影響により社会活動に様々な制約が生じていますが、我々はその中にあってもこのような調査・研究を途切れることなく続けていく所存です。

令和3年3月19日

奈良県立橿原考古学研究所  
所長 青柳正規

## 目次

序	青柳正規
竜田御坊山3号墳の再検討と被葬者像……………絹島 歩 前田俊雄 北井利幸 …… 1	
顔料が塗られた漆片の微細構造 —高松塚古墳— ……………北田正弘 奥山誠義 ……19	
近畿地方における中世の下駄の様相……………本村充保 ……29	
剝物腰掛に関する一考察 —乙木・佐保庄遺跡出土木製脚片の検討から— …… 鈴木裕明 ……49	
別所城山2号墳出土札甲のX線透過撮影、三次元形状計測調査……………卜部行弘 奥山誠義 ……65	
龍王山古墳群出土手焙形土器の線刻文様……………杉山拓己 ……73	

奈良県立橿原考古学研究所紀要

考古学論攷 第44冊

令和3年3月19日 発行

---

発行 奈良県立橿原考古学研究所

奈良県橿原市畝傍町1番地

印刷 株式会社明新社

奈良県奈良市南京終町3丁目464

---

ISSN 0287-9271